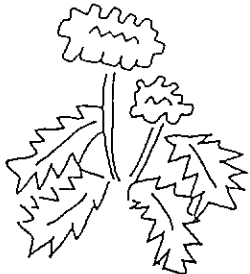


NO188
 H15年2月1日
 -発行-
 〒869-1217
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 ☎096-293-8100



大ですが、福祉・保健・医療・教育・労働などの連携を十分に図り、総合的な支援体制ができることを心掛け活動して行きたいと思えます。

熊本県自閉症・発達障害

支援センター

センター責任者 田邊 剛政

この度、熊本県の委託を受け、社会福祉法人「三気の会」が、「自閉症・発達障害支援センター」事業を行うことになりました。

◎自閉症への今までの取り組みについては、

・自閉症に関しては、一部は知的障害児(者)福祉体系の中に位置付けられてきましたが、その結果は必ずしも好ましいものではありませんでした。ケースによってはおかえって混乱を招く結果となる場合もありました。

・自閉症児施設は専門施設として法制化されましたが、その普及は必ずしも十分ではなく、現在、数箇所にとまっています。その支援についても、福祉や教育などの関係機関も適切な

連携をとることが困難でした。

◎これからの課題については、

・自閉症児(者)への支援は、自閉症に対する適切な理解を前提として、まずは個別対応によって安定状態を確立し、必要があれば逆統合という経過を経て、本来的なインクルージョン(包含)ないしインテグレーション(統合・融合)を実現することが重要になってきます。

・医療、教育、福祉、労働、などの関係機関は、自閉症の専門的な技能をもつスタッフが著しく不足しており、その養成は急務であります。

・自閉症児に対する早期発見と早期療育は重要ですが、その障害の示す特有な行動によって生じる養育者や家族の負担は著しいものがあります。家族を支援することは極めて重要です。

設」から「地域」にシフトしつつあります。したがって、在宅ないし地域の自閉症児(者)を支援する体制整備こそが重要な意味をもちます。

・地域での療育支援システムには、単なる調整機能だけでなく、自閉症児(者)とその家族の信頼関係の構築、期間を越えて個々の処遇のノウハウを共有する機能も含めた地域に根差した支援センターが必要です。

・支援センターには、興奮やパニックなどの場合に緊急対応が取れるような機能が望まれます。

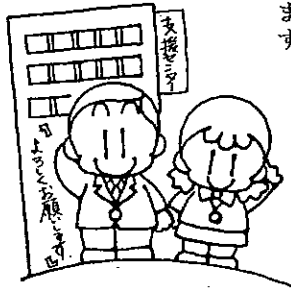
このような経緯の結果、今年度全国で十二箇所、自閉症・発達障害支援センターが設置されました。今後、各県に1箇所、中核都市に1箇所設置されることも決まっています。初めての事業、しかも初年度に立ち上がるということで、責任も重

また、支援体制の効果を上げるためには、センターのスタッフはもちろんのこと各関係機関のスタッフの養成、資質の向上を図らなければなりません。そのための研修も随時行っていく予定です。

◎支援センターの支援業務は、

- ①相談支援
- ②療育支援
- ③就労支援
- ④普及啓発・研修

スタッフは4名ですが、それぞれの機関と連携を取り合いながらより良い支援ができるよう努めて行きたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひ致します。



班にゆーす

1 班・「心新たに…」

寒さ厳しい折、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？遅ればせながらではありますが今年も宜しくお願い致します。さて、年が明け、新年早々から一班に思いがけない変化が生じました。期間限定ではありますが、これまで使っていた作業棟を通所部に譲り、トレーニングルームを作業棟として使用する事になりました。振り返れば…今から5年前。私が一班に配属になった年、作業棟建築に伴って10名の仲間と初めて作業をしたのがこの部屋でした。これまで作業棟での作業しか知らない他の指導員や仲間達には違和感があるようですが、私やその頃の10名の仲間にとってはどこか懐かしく、時の流れの速さを改めて実感する空間です。そのような中、この予期せぬ事態のお陰で新たに大きな発見をすることができました。それは…仲間達の成長です。日頃何気なく作業を行っていましたが、こうして場所や空間が予期せず変化しても、それらに左右されること無く自分の仕事が確実にできるようになっていたのです。それだけでなく、通所部の作業に「実習」と言う形で受け入れてもらえる事になり、息つく間もなく、一変に夢の「就労」へ近づいた気さえています。もちろん、全員が一度は実習できるように現在日替わりでお邪魔している最中です。…なかなか好調スタートの一班！心新たに進んでいけたらと思います。

大石由

5 班・初体験

冒頭からネタばらしをすると1月のレクは、5班初の夜間外出訓練でした。それでは早速興味津々…その時の様子をお知らせします。いつも午前中に出発するのに昼食後の外出で、事前に説明はしていたものの、いつまでも出発しない為涙の見られたT君でした。(本当の涙の原因は定かではないのですが。)昼食後、温泉の準備の再確認をして出発！目指すは城南町温泉センター。帰宅中から「シャンプー、石鹸…」など準備したがっていた光紀さん、大きいお風呂について泳いで、注意をうけました(私から。)余裕の陽治さんはマナー良く落ち着いていました。露天岩風呂・栓風呂を満喫した敬一さん泰成さん、他それぞれいい顔をしていました。移動後夕食の場所は市内月出の居酒屋・火間土に行きました。お酒落なお店の雰囲気を楽しむ間もなく、皆の関心は料理。一人に一品の今までのレストランでの食事とは違って、大皿料理を少しずつ取り分けて食べる為混乱しないか等不安もありましたが、その心配をよそに皆は上手く分け合って食べる事が出来ていました。ビールを楽しみにしていた人、全くアルコールに興味の無い人と5班の利用者の方は両極端でしたが、最後のデザートまで予算内に収まってよかったね。会計さん！また夜出掛けよう。

木下

6 班・流行の時代

暖かかったり、寒かったりと気候の変化が激しくなっています。そうなると、風邪がどうしても流行してしまいます。インフルエンザが猛威を振っている様ですが、どうにか園内ではインフルエンザの流行を間逃れた様でした。流行と言えば、今の時代100円がブームの様で先日レクレーションで出かけた回転寿司は全品100円で選び易く、低コストで味もなかなかの物でした。どれを選んでも100円というのは利用者にとっても、職員からしても安心できる内容でした。さて、6班でも日々ハガキ作りに奮闘中ですが、価格もズバリ100円という安さで提供させて頂いています。季節に合わせてハガキの色を変え、季節ごとの切り絵を細かく貼り、時間をかけてじっくりと作っています。是非、ご覧になられて下さい。現在、ハガキだけではなく、春・夏物コレクションを作成中ですので、ご期待下さい。

出牛

4班・春が来るまで頑張るぞ〜!

新しい年の幕開け…皆様どのようにお迎えになりましたか? 私たち農耕班では、秋の収穫12月の宿泊レク、冬季帰宅を終わりちょっと一段落といった感じです。冬場に入り現在畑にあるのは、にんにく・一文字・大根とさみしいのですが、毎年農耕班には冬場には恒例の作業があります。それは夏場にみんなが頑張って取った莫大な量の草を集めている草捨て場の切り返しの作業です。なぜこのような作業を毎年行うかという、そのままにしておく草の量はどんどん増え、草の置き場がなくなってしまうからです。草捨て場に捨ててある上のほうの部分はまだまだ草が原形を留めていますが、下のほうの状態は微生物のおかげですでに土の状態へと返っています。草を切り返しておくことでまだ原形を留めていた草を早く土に返すことができます。その土に返ったものをまた畑へ戻すことで肥料ともなり一石二鳥? というわけです。しかし、これがなかなかの重労働…。作業を始めるときは皆寒そうにしていますが、作業が終わるころには体はぼかばか!! 逆に暑いくらいです。春が来れば、すぐにまたにんにく・一文字の収穫、様々な作物の植え替えが待っています。あたたかい“春”が来るまで皆自力で温まる農耕班でした…。

P.S 森川様より堆肥をたくさんいただきました。いつもありがとうございます。

石井

2班・2003年新たにスタート

2003年、新年を迎え、新たな気持ちでいろんなことにチャレンジしていきたいと考えている今日この頃です。

さて2班の面々ですが、作業においては現在もネット作業が一時休止のために、下請け作業に取り組んでいます。チューブ通しでは、初めのうちはなかなか慣れずコードをチューブの中に通すことが出来なかったり、通す方向を逆にしていたりと悪戦苦闘していました。しかし!! 今ではみんな何なくこなしています。チューブ通しをしているみんなの真剣な表情は、一見の価値ありです。是非一度作業棟に足を運んで下さい。毎月25日の給料日では、近くのコンビニで好きなものを買物していますが、ここでみんなの表情を紹介します。マイクロバスで手を挙げて積極的に意思表示をしている博さん。どれを選ぼうかニコニコしている文彦さん。コーラに狙いが定まっている淳さん。表情には表さないものの狙いが定まっている方紀さん。ビールを買ってうれしそうな雄一さん。何がどこにあるか何故か知っている泰貴さん。お茶を味わって飲んでいる聡士さん。買い物が終わったら給料袋をどこかに忘れてしまう明日香さん。アイスクリームをじっと選んでいる一裕さん。大はしゃぎの綾子さん。じっくり選んでいる由布子さん。笑顔がやまない泰さん。慌てずゆっくり選んでいるさゆりさん。ジュースをうれしそうに飲んでいる幸恵さん。みんな本当にうれしそうです。給料日に給料袋を見ると目の色がキラリと輝いている2班のみんなでした。(次回の報告の時は、みんなの様子に変化が見られているかも知れません。楽しみにしておいて下さい!)

樋本

3班・頑張れ小物製品班

明けましておめでとうございます。毎日寒い日が続いている中3班の面々は昨年と変わらず、いや、それ以上に製品作りに精を出しています。それも多数の注文があったお陰です。結婚式で名前を書いた紙を立てる『フォトスタンド』『タイル製品』など数多く、嬉しい限りであります。この場を借りてお礼申し上げます。

まだまだ精度的には沢山の課題があります。しかし、木材を印に沿って切ってくれている憲一さん。眠気と闘いながら磨いている剛さん。形が変わるまで磨いてくれる暁さん、大介さん。毎日「何個仕上げた」と自慢げに話している希久男さん。製品をじっと見つめながら色を塗る哲也さん、武文さん。タイル製品職人の麻衣さん。製品を袋に入れてくれる信之さん。できた製品を布巾で磨いてくれる一章さん。それ以外にも…3班全員の力が集結して製品を作っています。そんな3班の作った、味のある製品です。

高橋



療育雑誌
ジョブコーチ

田邊剛政

今年度、ジョブコーチ（職場適応援助者）による支援事業が始まりました。ジョブコーチは、障害者の就労を支援する人です。熊本県には職業センターに配置型として5名、協力機関型（社会福祉法人などに協力依頼）として6名おられるとのこととです。

その役割は、障害者が働ける企業探しから始まり、電話でのアポイントメント、企業に対するサービスの説明、雇用の交渉、そして障害者が企業の中で一人で仕事をしていけるように、仕事を分かりやすく教えていきます。

障害者の就労は、今までは、福祉工場など保護された環境で行われていましたが、これからは統合された労働環境（一般社会）のなかで、障害があるために就労できなかった方や、就業意欲があっても断続的だった方を対象に、長期にわたる、障害者主体のプログラムで行われなければなりません。

そして、「訓練してから就労」から「就職した場所で訓練」へとパラダイム（発想）の変換をすることが求められます。

サポーターティッドエンプロイメント（援助付き就労）には3つのモデルがあります。

- ・インディビデュアルプレイスメント（個別就労）というマニツーマンの指導があります。個別就労は徐々に援助を減らして行き、数カ月後には一人でできることが目標になります。
- ・モービルクルー（移動作業班）、4〜5人くらいの障害者とジョブコーチが車で移動しながら公園の清掃などを行うものです。
- ・エンクレイブ（職場の一部を借り受けて仕事をする）、4〜5人くらいの障害者がジョブコーチと実際の職場で仕事をしています。

三気の里では、まだ就労に至ったケースはありませんが、いくつかの試みを行っています。個別就労の形態に近い、駅のトイレ清掃。モービルクルーの形態の公園の清掃、温泉場の駐車

場の清掃。エンクレイブの形態の職場実習。

今は、ボランティアワークと云う形で行っていますが、いずれは報酬がいただけるような仕事に変化させて行くことを、職員も利用者も思っています。

今までは、「重度だから」「それはできないから」と尻込みしていました。ジョブコーチは、どんな重度者でも就労を前提に考え、「就職可能性の予測」「方向性の査定」を目的にしない評価はジョブコーチの役割ではありません。「今、何ができないのか」という後ろ向きの評価では可能性を狭めます。「今、何ができるか」「職場で支援すればこの先何ができるようになるか」という前向きな評価は可能性を広げて行きます。

人は環境によって変わります、サポート（支援）によっても変わります。但し、どのように変わるかを知って（予測）おく必要はあります。

今年度、三気の里は作業所を設けました、来年度はグループホームを計画中です。「措置」

から「支援費」へ、「施設」から「地域」へ情勢は変化してきています。

専門家によるサポートから周囲のナチュラルサポートへ。初詣で

1月2日に阿蘇神社まで初詣で出かけました。新年を新たな気持ちで迎えようと願っている人達で社内には凄いい人ごみでした。女性人はおみくじを引き、自分の今年の運勢を占っている姿には女性らしい印象をうけました 出牛

三気の里メールボックス紹介

三気の里についてのご意見、要望その他何でも結構ですのでぜひメールをお送り下さい。皆様の声をお待ちしております。

URL <http://www7.ocn.ne.jp/>

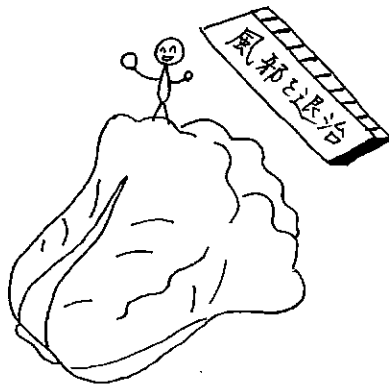
~sanki

E-mail sanki@stren.ne.jp



食堂営業中

こたつが恋しい日々が続く、世間ではインフルエンザが流行していますが、皆様は大丈夫でしょうか。そこで風邪予防にオススメなのが白菜です。鍋や汁物に入れるとカサも減りたっぷり汁まで食べられて、効率よくビタミンCが摂取できます。また白菜の芯にはカリウムやカルシウムが豊富に含まれており、芯を弱火でじっくり煮込んだ汁は風邪予防の特効薬と言えます。皆さん、お試しあれ！



恵良

地域交流支援科

八木 良江

寒さも冬本番、風邪の冷たさが顔に感じるこのごろです。世間ではインフルエンザの大流行で、葉

も追いつかないとか、三気の里ではまだ流行の兆しは現れてはいないのですが、気を引きしめ注意していかなければならないです。さて、春まであと少しとなり、今年度最後の4R白川が2月16日

(日)実施予定です。毎回、多数の利用者職員が朝早くから手伝い、地域の方々と触れ合いながら楽しく参加させていただいています。毎回、新聞の回収、仕分けを行っているのですが、回を重ねるごとに手際も良くなりました。今回も楽しく参加してこようと思っております。早朝よりまだまだ寒い時期ですが、頑張ります。

就労ケア科

田之上健一



就労ケア科が設置され、もうすぐ1年を迎えようとしています。個人的な声ではありますが、2ヶ月程入院して、仕事に復帰し、サンサン工房で働いている利用者の

方々の様子を改めてみると、驚く程の成長をしたと感じました。毎日接している中でも、感動や驚

きはありますが、少し距離を持つてから感じる事には新鮮さがあり、確実に個人レベルでの成長がある事に喜びを感じた次第です。

今後の三気の里が、前進する上でいゝんな改革であり、新発想を整えなければならぬ環境であり、取り組む事が多いのは事実ですが、確実に前進していると思います。自閉症児(者)発達障害者等の支援センターの設置など、広範囲に支援していく体制も整備され、旧体制の思考では対応できません。基本は大切に、支援方法の選択拡大等への取り組みで変わると思っています。利用者の方々はもちろん、それに関わる人達の想いが良い方向へと成就する事を願いたい。

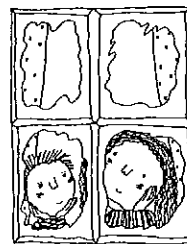
後援会ありがとう



- 松本 真彰・本田 久士
- 大野 博樹・山室 篤信
- 那須 二郎・樺嶋 尚志
- 河野 蝶子・橋口 大輝
- 隈本 亨・高橋 尚樹

前田 克英・藤井 文子

- 藤井 貴史・藤井 恵
- 高下 トミエ・高下 藤夫
- 高下 剛志・竹村 雄蔵
- 長友 裕美・芦馬 和美
- 立山 利博・中村 秀春
- 池上 こずえ



※敬称略

後援会募集のご案内

三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぼぼ」をお送り致します。

振り込み先

口座番号

01970・8・14902

社会福祉法人 三気の会后援会

保護者会代表 魚谷 秀文 宛

住所

熊本県菊池郡大津町森54・2

一口 3千円

団体は、1万円より

のんき のんき げんき ジョー



今回、頑張っている人を紹介します。まず、藍さんですが、朝の掃除が終わると一人で作業着に着替えて畑に出ています。絵は、少しはにかみながら描いて下さいました。働いたお金で釣りに行く日も近いかも！

続いて目画像ですが、武文さんであります。木作業の材料がなくなると手を上げて次を下さいとアピールしているそうです。二人とも就労に向けてFIGHT！

神絵はたんぼぼ編集員、もがなばってみました!!
いかがでしょうか??

今年の抱負

年末から年始にかけて、腰の怪我にあつて入院する事になった。健康で体を大切にと思うこの頃。



田之上

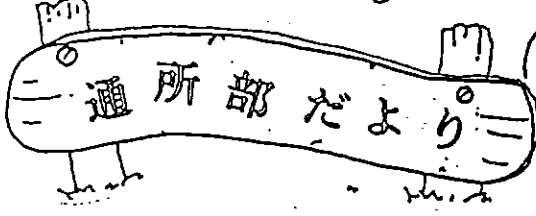
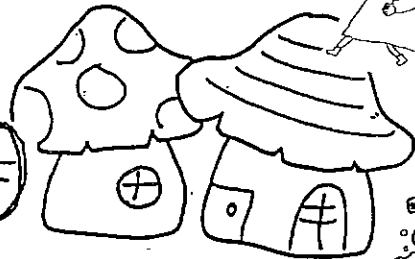
今年、いろんなことを体験していろんなことを学びたいです。秦



クリスマス会

12月20日にクリスマス会が行われました。ささやかながら、しかし盛大に行いました。食堂はクリスマスモード一色、ニュージランドからやってきた(予定では...)サンタさんからプレゼントを皆それぞれにもらい、数々の表情を浮かべて楽しんでいました。皆さんはいかがなクリスマスだったでしょうか。遅ればせながら...

上野



通所部の面々

パートIV

今回紹介するメンバーで、通所部全員の紹介となります。

初めに、通所部に来て一年半になる春野さんを紹介します。

四月当初、中々作業意欲が湧かなかつた彼に、色々な話をしてみました。言葉のない彼ではありましたが、「学校を卒業してきたんだから、もう社会人なんだよ。」「やりたくないならやらなくても良いから、頑張つて仕事している皆を、見ていてね。」と言うような話を

していく中で、徐々に彼の気持ちの変化が見えてきました。それと同時に上手く使えなかつた指先が使えるようになり、作業に集中する時間が長くなる事で、問題行動といわれていた服嚙みや常同行動が殆どなくなりました。お母さんも「上等な洋服を着せられるようになりました。」と大喜びされています。これからも色々あると思うけど、頑張れ長男!

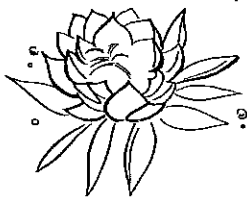
次に紹介するのは、昨年の秋(十一月)に仲間入りをした山内さん。彼は、一般企業の中で頑張つてき

ましたが、社会の厳しさや人間関係の難しさを痛感し、現在、通所部に通いながら人とのやり取りや自分の気持ちを表現すること等を練習しています。彼のやる気と頑張りは大したものですよ。これから彼の前向きな姿勢に期待しています。

最後に紹介するのは、入所部から来ている森川さんです。彼の作業能力をかい、通所部に協力してもらい、六月から通っています。通い始めから六ヶ月が過ぎ、着実に通所部の仲間になり、彼の力は通所部に欠かせないものになっています。来年度は、就労ケア科での頑張りを生かして行って下さいね。

これまで四回にわたり、仲間達を紹介してきました。色々な面を持つている彼らも、この一年間で沢山の変化を見せてくれています。これからも、皆で一緒に頑張るぞく!

岩田



2月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日	備考
◎岩永さん・森川さん・荒牧さん・明日香さん・神澤さん お誕生日おめでとうございます！ ◎8日スペシャル駅伝、11日懇親会、16日4R白川、 20日誕生会、22日帰宅バス、23日ジョキソクフェスティバル					1	2	
3 岩永さん(36) 森川さん(32)	4	5	6 1班レク	7	8 家族会 スペシャル駅伝	9	
10 荒牧さん(33)	11 懇親会	12 6班レク	13 2班レク	14	15	16 4R白川	
17	18 5班レク	19 たんぼぼ編集日	20 4班レク 誕生会 神澤さん(25)	21	22 帰宅バス	23 ジョキソク フェスティバル	
24	25 3班レク	26	27 神澤さん(58)	28			

ボランティア通信

最近ボランティアに来ていただくのは、学生だけでなく社会人や主婦の方々なども多く、三気の里も地域や社会に知っていただいているのかと嬉しい限りです。しかし、三気の里も、社会、地域の一員として何かできないかと考えています。何か、人手のご入用がありましたら是非ご一報ください。



菊池

(ボランティアありがとう)

*生け花 西村 栄子
*ピアノ演奏 井川マリ子

敬称略



十二月研修報告

二九日〜三一日
かくたつ冬季合宿 岩田 幸児



編集後記

今年からたんぼぼ編集員になりました桑野です。毎日寒い日が続き、世間はインフルエンザが大流行しているようです。その流行には全く関係ないほど毎日元気に過ごしています。本当に体だけは丈夫みたいです。しかし、初めてのたんぼぼ編集日、実はちよつと緊張していました。編集室ではいろんな話題で盛り上がりその緊張がなくなりかけた時、編集後記を依頼されました。私の1番苦手な文を書くこと。今年の始まりはこの苦手な事から始まりました。しかし、もうこんな事は言っていないようです。

二〇〇三年は心気一転！色々な事に挑戦して、前に進んでいきたいと思っています。たんぼぼ編集員の皆さんに迷惑をかけないように頑張っていきたいと思っています。ですので、宜しくお願いします。

桑野

